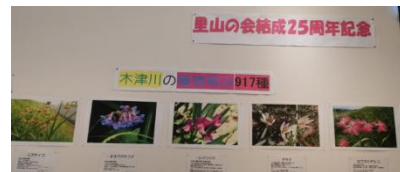


●里山展

3月8日から13日まで京田辺市中央図書館ノギャラリー甘南備で開催いたしました2022年度の里山展は芳名帳に147名が記帳頂きました。大変多くのご支援ご理解をいただき、主催者として御礼を申し上げます。展示いたしましたのは木津川で取り組んだ中聖牛の取り組みでした。これは9月から10月末まで15日をかけて竹蛇籠36本を製作し、2月に5日間で中聖牛の骨組み4基をくみ上げ、2月23・26・27の3日間で栗石60tを投入して完成させました。関わっていただいた人々は372名となった巨大な取り組みでした。2015年から始めて2022年2月に完成させたものです。これは京都大学や摂南大学、奈良女子大学、京の川の恵みを活かす会と共同で取り組んだ成果です。これは戦国武将武田信玄などが重宝したもので伝統河川土木工事と呼ばれるものです。写真をご覧になって懐かしいものとおっしゃってくださった人が幾人もおられました。

その他に天然記念物に指定されているイタセンパラの復活を目指す取組や、木津川の希少種となっている植物（花）の写真、そして里山農園の植物を使った草木染や、お正月に里山農園の教育棟での書初めの作品が展示され感銘を与えました。ここに展示したのは活動の一部でした。ご覧になっていただいた皆さんの感想をお聞かせいただければ、さらに充実した取り組みのヒントになります。一筆お力添えをおねがいします。



●展示物への親切な説明書があれば・・・

今回の展示については、4会場での地域説明会の開催準備にかなりの力を集中することになり、里山展への準備は希薄になり、十分な対応が大変遅れました。しかしその不十分さを補って展示がされました。ご観覧いただいた感想では、十分な広報がされると効果が上がるのに勿体ない等の声がありました。

●京都府交響プロジェクト交付金事業報告書づくり

これまで約8年間この交付金にお世話になってきました。魚とりや里山農園活動、そしてそのための諸道具を準備することができました。里山の会は会費を主力に長年ささやかな取り組みが続きましたが、NPO活動などを支援するこうした補助制度ができて、渡りに船でこの制度を活用させていただいて、数々驚くほどの成果を積み上げられることができました。2021年度をもって一区切りとされるので、記録集に集中して取り組んでまいりました。そうした意味での年でしたのでしっかりとまとめたいと頑張りました。今年の事業報告書づくりには申請書を提出していただいた有田さんをお願いをしています。又ベテランの森さんがお手伝いをしていただいて進めてくださっています。なれない作業なので最近1週間は朝9時から夕方6時まで長時間の作業に取り組んでいただいています。本当にご苦労さまです。

●近頃の催し案内 里山展で配布したチラシを紹介します

●3月21日 中聖牛披露の集い
調整

●3月23日 炭焼き原木割り 長さ

●3月26日 炭焼き着火 原木釜入れ作業

●3月27日 馬坂川清掃 ゴミ拾い
定番

●4月10日 春の野草を食する会 里山の会

●4月2日 親子花見乗船体験 馬坂川
3月20日申し込み受付開始

●フィランソロピー協会への申請事業内容

協会から事業内容を提示する用途の要請で次のような内容で申請書を提出いたしましたのでお知らせいたします。 ①馬坂川の清掃 親子花見乗船体験 ②カヌー体験 ③里山農園体験 昆虫観察会 ホタルの集いと里山音楽会 ④イタセンパラノ復活を目指す の4項目6事業(年間定番事業)を内容にいたしました。実施にあたっては、皆様のご協力をお願いいたします